② 地域の活性化　～「中部のげんき」を支える国土基盤づくり～

イ）我が国及び地域を支える物流基盤の整備

我が国全体と地域の経済・産業・生活を物流面から支えるため、中枢中核国際港湾、国際基幹航路等の物流基盤の整備を推進します。

ロ）“みなと”を核とした地域の活性化

地域の活力回復、活性化促進のため、多目的国際ターミナルの整備、リサイクルポートプロジェクトの推進、運河の魅力の再発見とその活用による地域の活性化を推進します。

→★港湾背後に立地する基幹産業を支えるバルク貨物等の安定的かつ低廉な輸送を確保し、地域の活性化を図るとともに、地域の民需・雇用創出にも資するよう国際・国内物流拠点の整備を推進します。

③ 港湾・沿岸域における安全・安心の確保　～安心・安全を支える国土基盤づくり～

イ）大規模地震・津波等への対応力強化

大規模災害に対応するため、耐震強化岸壁の整備や総合的な津波対策を進めるとともに、被災時においても官民が連携して港湾機能の維持・回復を図るための事業継続計画(BCP)の策定を推進します。　※BCP:Business Continuity Plan

ロ）港湾・海域における保安対策の強化

海上輸送ネットワークの安定性確保のため、国際輸送に加え、国内輸送、フェリーターミナルにおける保安対策の強化に取り組むのをはじめ、人材確保等の国際協力の推進など総合的な保安対策の実施を図ります。

→★切迫する大規模地震の発生に備え、「東海地震対策大綱」(平成15年5月)及び「東南海・南海地震対策大綱」(平成15年12月)を踏まえ、耐震強化岸壁の整備や臨海部における防災拠点の形成を推進します。

→★被災時の経済・社会活動の早期復旧を図るため、被災直後から復興までの具体的プロセスを念頭に置いた「産業防災プロジェクト」に官民が連携して取り組みます。

④ 柔軟で豊かな社会の実現　～良好な環境、魅力あるくらしを支える地域づくり～

イ）港湾行政のグリーン化の推進　～環境に配慮した港湾整備～

循環型社会の形成を図るため、リサイクルポートプロジェクトを推進するほか、地球温暖化対策としての船舶版アイドリングストップや港湾空間における自然環境の再生等に取り組みます。

ロ）市民・民間との連携による交流空間の形成

みなと・海岸を活用した地域内外の人の交流を促進し、また憩いの場を提供するため、市民・民間と連携し、みなとオアシスなどの交流空間の形成を図ります。

→★伊勢湾再生に向けた横断的な取り組みを盛り込んだ「伊勢湾再生行動計画」を策定し、行動計画に基づく施策の実施及び実施状況のフォローアップを行います。

→★改善効果が高く地域関係者からの要請が高いシーブルー事業について、これまでの実績を活かして伊勢湾、三河湾の再生を推進するために新たな干潟、覆砂材の検討を進めます。

→★「観光立国」の実現や地域の活性化に資する「みなとまちづくり」を、宇治山田港(伊勢市)の先進的な事例などを参考にしつつ、行政や地域住民とのパートナーシップのもと、中部地域の各港湾で展開します。

中部地方整備局　港湾関係事業の重点施策

① 国際競争力の強化　～「中部のげんき」を支える国土基盤づくり～

・伊勢湾における基幹航路ネットワークを維持し、中部地方におけるものづくり産業の国際競争力向上を図るため、官民一体となった総合的な取り組みにより「伊勢湾スーパー中枢港湾プロジェクト」を強力に推進します。

◆伊勢湾（名古屋港・四日市港）スーパー中枢港湾プロジェクトの推進

名古屋港　国際海上コンテナターミナル

四日市港　国際海上コンテナターミナル及び臨港道路

② 地域の活性化　～「中部のげんき」を支える国土基盤づくり～

・港湾背後に立地する基幹産業を支えるバルク貨物等の安定的かつ低廉な輸送を確保し、地域の活性化を図るとともに、地域の民需・雇用創出にも資するよう国際・国内物流拠点の整備を促進します。

◆地域経済の活性化と産業競争力を支える物流基盤の整備

田子の浦港　多目的国際ターミナル

衣浦港　臨港道路の4車線化

③ 港湾・沿岸域における安全・安心の確保　～安心・安全を支える国土基盤づくり～

・切迫する大規模地震の発生に備え、「東海地震対策大綱」(H15.5月)及び「東南海・南海地震対策大綱」(H15.12月)を踏まえ、耐震強化岸壁の整備や臨海部における防災拠点の形成を推進します。

◆災害に強い安定した港湾機能の確保

衣浦港　岸壁の耐震改良

田子の浦港　道路（改良）

◆臨海部における防災拠点の形成

清水港 新興津地区　防災緑地

④ 柔軟で豊かな社会の実現　～良好な環境、魅力あるくらしを支える地域づくり～

・改善効果が高く地域関係者からの要請が高いシーブルー事業について、これまでの実績を活かして伊勢湾、三河湾の再生を推進するために新たな干潟、覆砂材の検討を進めます。
・「観光立国」の実現や地域の活性化に資する「みなとまちづくり」を宇治山田港(伊勢市)の先進的な事例などを参考にしつつ、行政や地域住民とのパートナーシップのもと、中部地域の各港湾で展開します。

◆シーブルー事業による三河湾の環境改善の推進

三河湾　シーブルー事業の推進

◆放置艇対策等の推進

◆みなとの資産を活かしたみなとまちづくりの推進

◆親水緑地整備による良好な水辺空間の創出

名古屋港
水辺空間を活かした緑地

スーパー中枢港湾プロジェクトの推進

目標：アジア諸国の主要港湾を凌ぐコスト・サービス水準の実現

【数値目標】
・港湾コストは、現状より約３割低減（釜山港（韓国）、高雄港（台湾）と同レベル）
・リードタイムは現状３～４日をシンガポール港並みの１日程度に短縮
（※）リードタイム：本船の入港から貨物引き取りが可能となるまでの時間

アジア域内において港湾間競争が激化するなかで、相対的にその地位を低下させている我が国港湾が、国際物流の大動脈たる基幹航路（北米航路、欧州航路といった大型コンテナ船が投入される航路）ネットワークを維持していくため、アジアの主要港を凌ぐコスト・サービス水準の実現を目標に、官民一体でIT化等の施策を先導的・実験的に展開し、次世代高規格コンテナターミナルの形成を図る。

＋ 伊勢湾独自の目標：顧客（利用者）のニーズを第一に港を常に改善していく

【伊勢湾独自の数値目標】
・週５日以上航路のある世界主要港を８割増（２０港のうち８港を１４港へ）
・耐震強化された海陸一貫ルートの整備率１００％化（２０％を１００％へ）
（※）海陸一貫ルート：耐震コンテナバースおよび耐震コンテナバースと高規格幹線道路を結ぶ道路のこと

中部地域のものづくり産業の支援、中部地域経済の持続的な発展のため、伊勢湾スーパー中枢港湾においては、「顧客（利用者）のニーズを第一に港を常に改善していく」ことをめざし、顧客満足度調査の結果を踏まえ、第２回スーパー中枢港湾連携推進協議会において、伊勢湾独自の目標を設定した。
また、以下の４つの目標とそれぞれを実現するための施策を、協議会として推進することとした。

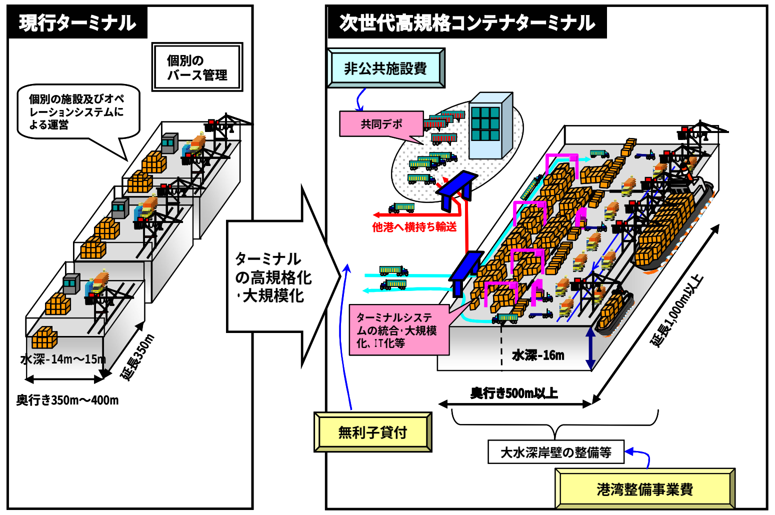
中部地方整備局管内においては、平成17年7月4日に指定特定重要港湾に指定された名古屋港及び四日市港において、次世代高規格コンテナターミナルの形成にかかる支援事業等を行う。

（ スーパー中枢港湾の動向 ）

平成１６年度
・スーパー中枢港湾の指定（7月23日）
（京浜港、伊勢湾(名古屋港･四日市港)及び阪神港を指定）

平成１７年度
・港湾法の一部改正施行（7月1日）
・指定特定重要港湾の指定（7月4日）
（京浜港、名古屋港及び四日市港、大阪港及び神戸港を指定）

・次世代高規格コンテナターミナル形成支援事業の実施



次世代高規格コンテナターミナルの形成イメージ

伊勢湾（名古屋港・四日市港）の国際海上コンテナターミナル（完成イメージ）

名古屋港　飛島ふ頭南地区

四日市港　霞ヶ浦北ふ頭地区

飛島ふ頭南地区　国際海上ｺﾝﾃﾅﾀｰﾐﾅﾙ第２ﾊﾞｰｽ（水深16m）〔平成２０年供用（予定）〕の整備
飛島ふ頭地区　道路（改良）、東航路（-16m）の整備

霞ヶ浦北ふ頭地区道路（霞４号幹線）の整備

○港湾の広域連携強化に向けたコンテナ物流円滑化共同デポ等の整備に対する補助制度による支援を実施
○民間ターミナルオペレーターが整備する荷捌き施設等（ｶﾞﾝﾄﾘｰｸﾚｰﾝ、ＲＴＧなど）の整備に対する無利子貸付制度・税制特例などによる支援を実施
○アジアの主要港を凌ぐコスト・サービスを実現するための先導的・実験的取り組みを支援する社会実験等を実施

１．コンテナターミナルのサービス高質化

○競争状態の生成によるターミナル運営の効率化（サービス競争のための条件整備）
　①名古屋港・四日市港における次世代高規格国際コンテナターミナルの整備
　②コスト、サービスの改善

２．ＳＣＭを支える物流機能の高度化

○ロジスティクス機能の連携
　③伊勢湾としてのデイリーサービスの確保
　④共同デポによるフィーダー貨物の輸送効率化
　⑤内航海運の利用促進
　⑥鉄道輸送の活用検討
　⑦インランドデポを活用した名古屋港、四日市港の連携
　⑧Ｓｅａ＆Ａｉｒによる輸送など施策実現に向けた検討
○物流情報の共有化
　⑨名古屋港と四日市港の情報連携の拡大について検討
○寄港コストの軽減
　⑩寄港コストの軽減（水先料金の見直し等）

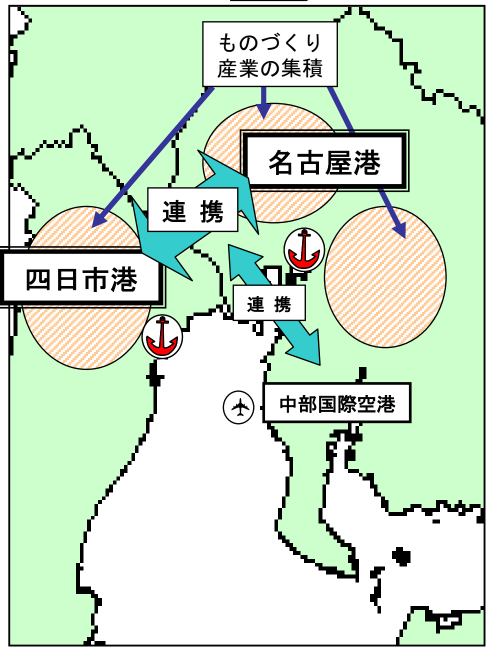
３．港へのアクセス改善

　⑪海・陸・空一貫高速物流ネットワークの構築
　⑫道路ネットワーク検討部会の設立

４．災害時の改善

○大規模災害時におけるリダンダンシーの確保
　⑬補完的に港湾施設利用が可能となる体制の構築
　　（岸壁融通協定の締結）
　⑭港湾施設の被災情報等の共有（企業の復興を支援）
　⑮耐震強化岸壁の整備促進
　⑯港湾物流アクセス確保のための緊急輸送道路
　　活用に向けた関係機関への働きかけ

共通の背後圏である中部地域のものづくり産業を支援



（※）伊勢湾スーパー中枢港湾連携推進協議会

【構成員】
愛知県知事、三重県知事、名古屋市長、四日市市長、(社)中部経済連合会会長、名古屋商工会議所会頭、四日市商工会議所会頭、中部国際空港(株)社長、名古屋港管理組合管理者、四日市港管理組合管理者、国土交通省中部運輸局長、国土交通省中部地方整備局長

平成１６年１２月　第１回 伊勢湾スーパー中枢港湾連携推進協議会開催
平成１７年１０月　第２回 伊勢湾スーパー中枢港湾連携推進協議会開催

協議会の構成員が一体となり、中部地域のものづくりを下支えし、広域的な物流の円滑化に資する施策を積極的に展開

２．平成１９年度　港湾関係事業のポイント

Ⅰ　モノづくりなど産業の国際競争力の強化

●まんなかプロジェクト１　名古屋港等国際競争力強化プロジェクト

◇「安く、早く、安全で信頼性の高い海上物流サービス」の提供 《港湾･産業の国際競争力の強化》

中枢・中核国際港湾等において、北米、欧州と我が国を結ぶ長距離基幹航路のゲートウェイとしての機能の強化や、アジア地域における物流ネットワークの形成に向けての取り組みを重点に進めます。特に、我が国のものづくり産業を支える伊勢湾（名古屋港・四日市港）においては、アジアの主要港を凌ぐコスト・サービスの実現に向けた「スーパー中枢港湾」プロジェクトを推進します。

(1)「スーパー中枢港湾」プロジェクトの推進　〔基本方針①〕

コスト・サービスともに国際水準を視野においた国際物流拠点の形成を図るため、官民が一体となり次世代高規格コンテナターミナルの実現等を推進します。

◆名古屋港　飛島（とびしま）ふ頭南地区　国際海上ｺﾝﾃﾅﾀｰﾐﾅﾙ(-16m)第1ﾊﾞｰｽ【国】
(岸壁についてはＨ１７．１２供用開始、引き続き航路の増深を推進)

◆名古屋港　飛島（とびしま）ふ頭南地区　国際海上ｺﾝﾃﾅﾀｰﾐﾅﾙ(-16m)第2ﾊﾞｰｽ【国】

◆四日市港　霞ヶ浦北（かすみがうらきた）ふ頭地区　臨港道路(霞４号幹線)【国】

名古屋港 飛島ふ頭南地区 国際海上ｺﾝﾃﾅﾀｰﾐﾅﾙ（完成ｲﾒｰｼﾞ）

四日市港 霞ヶ浦北ふ頭地区 国際海上ｺﾝﾃﾅﾀｰﾐﾅﾙ（完成ｲﾒｰｼﾞ）

(2)経済の活性化と産業競争力を支える物流･産業拠点の形成　〔基本方針②〕

地域の産業活動を支える多目的国際ターミナルの整備を推進します。

◆田子の浦港　中央地区　多目的国際ターミナル(-12m)【国】

◆三　河　港　神野（じんの）地区　多目的国際ターミナル(-12m)【国】
(岸壁については１５年度に暫定(-10m)供用済み、引き続き航路泊地の増深を推進。)

◆衣　浦　港　武豊（たけとよ）北ふ頭地区　多目的国際ターミナル(-12m)【国】
(岸壁については７年度に暫定(-10m)供用済み、引き続き航路泊地の増深を推進。)

田子の浦港 中央地区 多目的国際ﾀｰﾐﾅﾙ(-12m)

三河港 神野地区 多目的国際ﾀｰﾐﾅﾙ(-12m)

(3)国内物流輸送拠点の整備　〔基本方針②〕

環境への負荷が少なく、輸送効率の高い国内海上輸送の利用促進を図るため、陸上輸送と円滑かつ迅速に結ばれたシームレスな複合一貫輸送に対応した国内物流拠点を整備します。

◆三 河 港　御津地区　内貿物流ターミナル【愛知県】

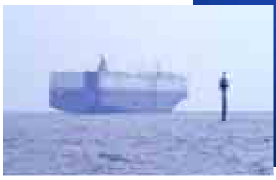
◆東幡豆港　桑畑C地区 内貿物流ターミナル【愛知県】

三河港 御津地区 内貿物流ﾀｰﾐﾅﾙ(-5.5m)

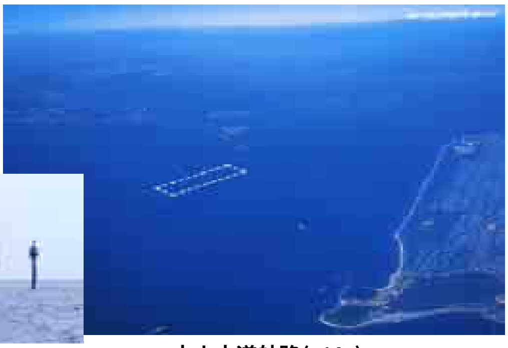
(4)国際幹線航路におけるボトルネックの解消　〔基本方針②〕

国際幹線航路における船舶航行の安全性の向上と物流コストの削減、並びに安全で安定的な海上輸送サービスの確保を図るため、供用を開始した開発保全航路について適正な保全を行います。

◆中山水道航路（保全）【国】
（航路の整備は平成１６年度に完了）



航路保全用標識



中山水道航路(-14m)

Ⅱ　世界都市を目指した名古屋と各拠点都市の魅力向上

●まんなかプロジェクト４　名古屋にぎわい創出プロジェクト

◇環境と調和した美しい近代都市の構築《水辺空間を活かした緑地づくり》　〔基本方針④〕

２１世紀初頭を整備目標とした「中川運河再開発基本計画」を踏まえ、名古屋港に近い中川口において水辺空間を活かした緑地整備を推進し、静穏な運河風景やレガッタ大会を眺めながら散策し、憩える場所の形成を図ります。

◆名 古 屋 港 中川運河地区　緑地　　　【名古屋港管理組合】

整備箇所

整備イメージ

緑地と一体となった運河の利用状況

Ⅴ　中部の豊かな自然環境、歴史、文化などを活かした地域づくり、観光振興

●まんなかプロジェクト10　伊勢湾等再生プロジェクト

◇自然環境の創出・保全を推進

(1)閉鎖性海域(三河湾)の環境改善　〔基本方針④〕

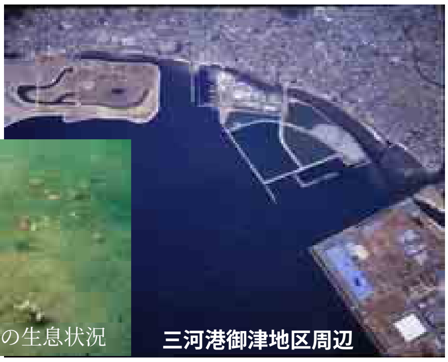
典型的な閉鎖性海域である三河湾の水質･底質環境改善のため、浚渫砂等を活用した覆砂、干潟・浅場造成を推進します。

◆三河湾　シーブルー事業　【国】

◆実施設計調査
浚渫土を活用した環境配慮事業の検討　【国】

◆三河港　御津（みと）地区
シーブルー事業【愛知県】

覆砂後の二枚貝等の生息状況


三河港御津地区周辺

(2)良好な海洋環境の実現　〔基本方針④〕

伊勢湾において海洋環境の保全を図るため、浮遊ゴミや流出油の回収を行います。また、閉鎖性海域の環境モニタリングを推進します。

◆伊勢湾　海洋環境整備事業　【国】

白龍（清掃兼油回収船）

流木回収状況（白龍）

回収した流木等の陸揚げ

●まんなかプロジェクト11　エコ・中部プロジェクト

◇循環型社会の構築・地球環境問題への対応　〔基本方針④〕

底質ダイオキシン類対策を推進し、良好な海域環境の保全促進を図ります。また、環境基準を超える底質ダイオキシン類の対策を推進します。

◆田子の浦港　港内地区
公害防止対策事業　【静岡県】

田子の浦港 港内地区 ダイオキシン対策

●まんなかプロジェクト12　歴史・文化・自然を活かした中部観光交流拡大プロジェクト

◇観光による交流の促進《地方の個性ある活性化》

(1)観光交流基盤の整備〔基本方針④〕

民間事業者による事業と公共事業の連携を図りつつ、地域の核となる施設や港湾の基盤施設の整備を推進し、豊かで活力ある質の高いｳｫｰﾀｰﾌﾛﾝﾄ空間づくりを推進します。

◆沼 津 港　特定地域振興重要港湾としての施設整備　　【静岡県】
(外港地区への展開と内港地区の再開発による観光拠点づくり)

◆松 崎 港　特定地域振興重要港湾としての施設整備　　【静岡県】
(『駿河湾観光計画』(にぎわいのある“みなとまち”づくり＜港整備交付金＞)

◆大井川港　臨港道路等　　【静岡県】
(『駿河湾観光計画』(にぎわいのある“みなとまち”づくり＜港整備交付金＞)

◆伊 東 港　静海(しずみ)地区　旅客船ターミナル　　【静岡県】

◆鳥 羽 港　佐田浜(さだはま)地区　旅客船ターミナル　　【三重県】
(一部、<港整備交付金>を含む整備)

沼津港 観光拠点完成イメージ

松崎港 観光拠点整備

◇暮らしやすく美しい生活環境の再生《魅力ある水辺空間の創出》

(2)良好な港湾環境の創出〔基本方針④〕

港湾空間において、市民に開かれたアメニティ豊かな緑地の整備を推進します。

◆田子の浦港　港口(こうぐち)地区　緑地　【静岡県】
◆三 河 港　御津(みと)地区　緑地　【愛知県】
◆三 河 港　大塚(おおつか)地区　緑地　【愛知県】
◆衣 浦 港　高浜地区　緑地　【愛知県】
◆衣 浦 港　東浦地区　緑地　【愛知県】

田子の浦港 港口地区　緑地施設

三河港 大塚地区　緑地施設

(3)良好な水辺空間の創出〔基本方針④〕

近年のプレジャーボート需要の増大に伴い、港湾等における放置艇を解消するため、ボートパーク整備を推進し良好な水辺空間を創出します。

◆浜 名 港　舞阪地区　　ボートパーク整備　【静岡県】
<港整備交付金>

◆吉 田 港　宮崎西地区　ボートパーク整備　【愛知県】
<港整備交付金>

護岸等へ不法係留される放置艇（吉田港）

VI　誰もが生き生きとして暮らせる豊かでゆったりとした生活環境の実現

●まんなかプロジェクト14　交通結節点（静岡）等ユニバーサルデザインプロジェクト

◇ユニバーサルデザイン化《バリアフリー》

(1)港湾のユニバーサルデザイン化〔基本方針④〕

高齢化社会の到来、障害者の自立等の高まりを背景に、港を訪れた市民が安全かつ身体的負担の少ない方法で利用できるよう、旅客船ターミナルのユニバーサルデザイン化を推進します。

◆鳥 羽 港　佐田浜（さだはま）地区　旅客船ターミナル　【三重県】（再掲）

◆伊 東 港　静海（しずみ）地区　旅客船ターミナル　【静岡県】（再掲）

鳥羽港 旅客船ターミナル完成イメージ

伊東港　旅客船ターミナル改良イメージ

●まんなかプロジェクト15　住民と協働した地域づくりプロジェクト

◇地域住民、地元行政など多様な主体の参加と連携によるみなとまちづくり。

(1)みなとまちづくりの推進　〔基本方針④〕

地域の個性ある発展を将来にわたり着実に進めるため、みなとの資産を住民・市民の立場から再評価するとともに、みなとの資産を最大限に活用して、市民の合意の下で美しく活力のある「みなと」空間を形成する「みなとまちづくり」を推進します。

津松阪港 中部国際空港海上アクセスターミナルを核としたみなとまちづくり

「みなとまちづくり」ワークショップの開催（宇治山田港）

Ⅶ　東海・東南海・南海地震をはじめとした災害に強い安全・安心な地域づくり

●まんなかプロジェクト16　東海・東南海・南海地震等対策強化プロジェクト

◇災害による被害を軽減させる《安全・安心の確保－東海地震対策等》

東海地震による震度分布等の見直しを受け、地域住民の生命財産を守り、迅速な災害復旧を行う為に必要な施策の取り組みを強力に進めます。

(1)震災時におけるゲートウェイの機能の強化と安定した物流動線の確保〔基本方針③〕

緊急物資等の輸送に対応するとともに、震災時の広域的な社会経済活動への影響を最小限にするため、耐震強化岸壁の整備を推進します。

◆名 古 屋 港　飛島ふ頭南地区 国際海上ｺﾝﾃﾅﾀｰﾐﾅﾙ(-16m)第2ﾊﾞｰｽ(耐震ﾊﾞｰｽ)【国】(再掲)

◆田子の浦港　中央地区 多目的国際ターミナル(-12m)(耐震ﾊﾞｰｽ)【国】(再掲)

◆衣　浦　港　中央ふ頭西地区 岸壁(-10m)(耐震改良)【愛知県】

◆浜　島　港　浜島地区 岸壁(-5.5m)(耐震改良)【三重県】
<港整備交付金>

◆名古屋港・四日市港
伊勢湾の災害時における国際コンテナ物流機能の確保に関する協定（H18.3.1締結）に基づく合同防災訓練等を行う予定。

名古屋港 飛島ふ頭南地区 国際海上ｺﾝﾃﾅﾀｰﾐﾅﾙ〔耐震構造ｲﾒｰｼﾞ〕

衣浦港 中央ふ頭西地区 岸壁(-10m)(耐震改良)

(2)臨海部における防災拠点の形成〔基本方針③〕

耐震強化岸壁等と連携し、災害時の拠点となる避難緑地等の整備を推進します。

◆清 水 港　新興津（しんおきつ）地区 緑地（防災）　【静岡県】

清水港 新興津地区　緑地イメージ図

(3)船舶航行の安全性・効率性の向上及びみなとまちの防護〔基本方針③〕

地震による津波から港湾内の人命・資産を守るため、津波低減効果も期待できる防波堤の整備を図ります。

◆下田港　下田地区 避難港防波堤　【国】

下田港 下田地区　避難港防波堤

(4)都市部の緊急防災対策の強化〔基本方針③〕

大規模地震発生時にも港湾機能を確保するため、緊急対策として橋梁の耐震補強等を推進します。

◆田子の浦港　中央地区　道路（改良）【静岡県】

◆三河港　神野（じんの）地区　橋梁（耐震改良）【愛知県】

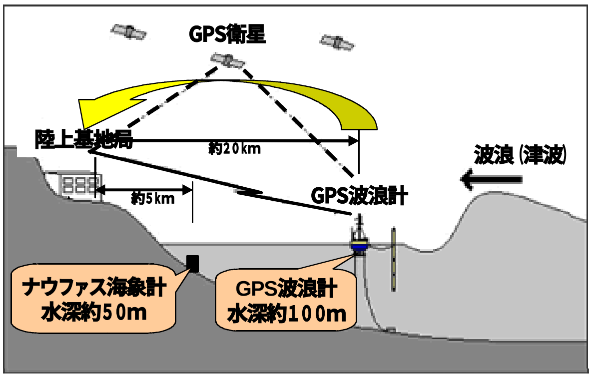
田子の浦港 中央地区 道路（改良）

三河港 神野地区 橋梁（耐震改良）

(5) ＧＰＳ波浪計による波浪観測 〔基本方針③〕

ＧＰＳ波浪計を活用し、沖合での波浪情報を取得することにより、コストの適正化と安全で効率的な港湾工事の実施を図ります。

また、港湾を含む沿岸域での津波対策における迅速な対応が可能となります。



▲ＧＰＳ波浪計を用いた沖合波浪観測体制イメージ

●その他のプロジェクト

◇既存ストックの有効活用〔基本方針②〕

年々増加する港湾ストックのメンテナンスを適時適切に行い、少ない投資でライフサイクルの延命化を図るため、重要な施設については、きめ細やかな改良工事を実施します。

◆名古屋港　金城ふ頭地区　岸壁(-10m)の補修改良【名古屋港管理組合】

◆清 水 港　日の出地区　岸壁(-12m、-7.5m)の補修改良【国、静岡県】

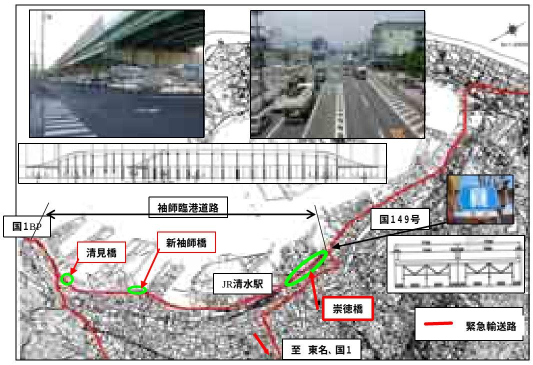
◆衣 浦 港　中央ふ頭東地区　岸壁(-12m)の補修改良【国】

◆清 水 港　袖師臨港地区　橋梁の補修改良【静岡県】

▲名古屋港金城ふ頭地区 岸壁改良

▲清水港日の出地区　岸壁改良

▲衣浦港中央ふ頭東地区 岸壁(-12m)改良



▲清水港袖師臨港地区　橋梁（改良）

主要事業箇所（直轄）

名古屋港 飛島ふ頭南地区 耐震強化国際海上ｺﾝﾃﾅﾀｰﾐﾅﾙ(第２ﾊﾞｰｽ)の整備

１．事業箇所

名古屋港飛島ふ頭南地区（愛知県海部郡飛島村東浜）

２．整備概要

名古屋港の外貿コンテナ取扱量は年々増加しており、平成１７年１２月に供用開始した第１バースを加味しても、すでに取扱能力を上回っている状況であり、平成１６年７月に港湾計画を変更し2010年目標の外貿コンテナ貨物量を約20%上方修正（208万TEU→253万TEU）したところである。また、入港する船舶も大型化の一途をたどっており、すでに水深16m級のコンテナ船が喫水調整をして入港しているなど、高規格で大水深なコンテナターミナルの更なる整備が喫緊の課題となっている。

飛島ふ頭南地区国際海上コンテナターミナルは、民間企業と協働し自働化荷役システムの導入、ＩＴ化やターミナルゲートの24時間フルオープン化、共同オペレーターによる複数バースの一元管理・運営など、連続２バース一体利用による効率的な荷役を目指している。

飛島ふ頭南地区国際海上コンテナターミナル第２バースの整備は、スーパー中枢港湾が目指す低廉で効率的なコンテナターミナルの実現を目指し、日本をリードする｢ものづくり産業の中部｣を支える名古屋港の機能を強化させるとともに、国際競争力の更なる向上を図るものである。

整備内容 ： 岸壁(-16m) 400m、泊地(-16m) 、ふ頭用地、荷役機械等

３．整備効果

・震災時にも国際幹線物流機能を維持することにより、中部圏経済への影響を回避する。
・大水深で高規格な国際海上コンテナターミナルの整備により、年々増加する名古屋港のコンテナ貨物に対応し､｢ものづくり産業の中部｣における国際競争力の更なる向上を図る。

▲飛島ふ頭南地区国際海上コンテナターミナル 完成イメージ

▲コンテナターミナル耐震構造イメージ

主要事業箇所（直轄）

四日市港　霞ヶ浦北ふ頭地区　臨港道路（霞４号幹線）の整備

１．事業箇所

四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区（三重県四日市市～川越町）

２．整備概要

伊勢湾スーパー中枢港湾の一翼を担う四日市港は、背後地域における生産活動及び生活・消費活動の増大に伴い、近年外貿コンテナ貨物量が大幅に増加している。これに対応するため平成１８年１月に当地区に国際海上コンテナターミナル(-14m)が供用開始したところである。

一方で、現在コンテナ貨物物流により周辺一般道路の慢性的な混雑が発生しており、今後のコンテナ貨物の増大により更なる混雑が危惧される。

臨港道路霞４号幹線の整備は、国際海上コンテナターミナルと背後圏の機能的な連結による周辺道路の混雑解消により、輸送時間の短縮による物流コストの削減・効率化を図るとともに、災害時の信頼性を確保するものである。

整備内容　：　臨港道路（霞４号幹線）

３．整備効果

・輸送時間の短縮による物流コストの削減・効率化を図る。
・震災時にも物流機能を維持することにより、背後圏経済への影響を回避する。

▲霞ヶ浦北ふ頭地区　臨港道路（霞４号幹線）

田子の浦港　中央地区　多目的国際ターミナルの整備

１．事業箇所

田子の浦港中央地区（静岡県富士市）

２．整備概要

田子の浦港中央地区の岸壁では、背後に位置する工場等で使用するチップ、パルプ、メイズ等の原材料の輸入とセメントの移入を取り扱っている。

既存岸壁は昭和４２年に整備された水深９mの岸壁であり、整備後３７年が経過しており施設の老朽化が見られるとともに、船舶が喫水調整により入港しているなど船舶の大型化への対応が遅れている。また、当岸壁は大規模地震時の緊急物資輸送用岸壁として位置付けられており、早急な整備が望まれている。

多目的国際ターミナルの整備は、「増大する貨物」「船舶の大型化」「大規模地震対策」に対応するため、既存の岸壁を水深１２mの岸壁に耐震改良するとともに、航路泊地の-12mへの増深を行うものである。

整備内容　：　岸壁(-12m)　240m、航路泊地(-12m)

３．整備効果

・企業再編や合理化により産業競争力の強化を進めている背後企業の物流コストの軽減に寄与する。

・岸壁を耐震強化することにより東海地震等大規模地震時の緊急物資輸送拠点として市民の生活を支えることが可能となる。

▲中央地区　多目的国際ターミナル

主要事業箇所（補助）

衣浦港　中央ふ頭西地区　臨港道路（武豊線）の整備

１．事業箇所

衣浦港中央ふ頭西地区（愛知県半田市～武豊町）

２．整備概要

中央ふ頭西地区と武豊北ふ頭地区を結ぶ臨港道路武豊線は衣浦港の物流の中核施設であり、港湾活動及び周辺地域の発展に大きく寄与してきたが、現況が２車線のため慢性的な混雑が発生しており、現在４車線化への改良工事を実施している。

一方、近い将来の発生が危惧されている東海・東南海地震では、衣浦港地域においても甚大な被害が予想されている。

このため、大規模地震発生時においても幹線臨港道路の機能を確保するため、落橋防止等の地震対策を併せて実施するものである。

整備内容　：　道路（改良）

３．整備効果

・4車線化により円滑な港湾物流機能が確保され、予想される交通量の増加に対応できる。
・大規模地震発生時にも幹線臨港道路の機能が確保されるとともに、緊急輸送路としての利用も可能となる。

衣浦港 中央ふ頭西地区　道路（改良）

渋滞状況（現況）

主要事業箇所（補助）

清水(しみず)港　新興津(しんおきつ)地区　港湾環境整備（緑地等）の整備

１．事業箇所

清水港新興津地区（静岡県静岡市清水区興津本町）

２．整備概要

新興津地区においては、総合的な港湾機能強化を図るため、国際海上コンテナターミナルの整備が急ピッチで進められている。その一方で、周辺地域の環境保全に対する市民からの要請も大きい。

このため、海浜やレクリエーション機能を備えた緑地整備を推進することにより、港湾環境の一層の向上を図ることとしている。

また、大規模災害発生時には埠頭の大水深耐震強化岸壁と連携して、救護物資の効率的な輸送や救援活動拠点としての機能を果たすことが期待される。

整備内容　：　植栽、海浜、等

３．整備効果

・静岡市清水区興津地区の活性化、港湾環境の向上。

・大規模災害発生時の避難地、救援・復旧支援基地としての効果。

・海岸（砂浜）の再生。

[清水港　新興津地区　緑地]

[位置図]

[緑地イメージ]